

# 第34回放送番組審議会

## 議事録

平成22年11月19日

すまいるエフエム株式会社

## 番組審議会議事録

1 開催年月日 平成22年11月19日 金曜日 午後7時30分より

2 開催場所 志木市本町 時遊空間・ぎゃんぐ

3 委員の出席 委員の総数 7名

出席委員数 4名

出席委員の氏名 山谷 真名 委員長

富重 淳

野口 敏明

宮川さち子

放送事業者側出席者氏名

代表取締役 柏木 恭一

制作・審議会担当 勝村 一介

#### 4 議題

- [報告事項] 1. 新委員・宮川氏紹介
2. 再免許の完了について
3. その他
- [諮問事項] なし
- [審議事項] 1. 番組「ご近所さんの気楽なステージ」について
2. その他
- [協議事項] 1. その他

#### 5 議事の概要

放送事業者側から開会の挨拶の後、議題審議に入った。

#### 6 審議内容

議長 報告からお願いします。

局員 まず始めに、木下さんに替わり、新委員として宮川さち子さんに今日から来ていただいています。自己紹介をお願いします。

委員 志木市本町で商売をしており、本や文具、雑貨とかの商売をしている。柏木さんとは志木市の30周年の実行委員として一緒にやらせていただいた。まだ、意見の出し方など分からないことがあります。これから勉強させていただきたいと思う。

局員 再免許が完了した。10月31日で切れることとなっていたので、手続きをしていた。地域的に人口も増えているので、大きな落ち込みも無くやって来れたと思う。新番組が、11月からは「ぶるべり☆ちっぷす」の番組が始まった。番組をやっている「ケンソウシ」というバンドが、フジテレビの番組のエンディングに決まったりしている。ホームページのアクセスも増えてきている。平常でIPベースで、1日2000くらいのアクセスがある。

議長 今回の番組について意見ををお願いします。

委員 坂本さんはどのような方なのか、ということを考えて聴いた。

最初に聴いた物が「夏休み特別バージョン」ということだったが、内容として「特別バージョン」の意味が良く分からなかった。

自己紹介も無く始まったので出ている人も良く分からず、番組の最後で紹介されていた。気になったのが、坂本さんが「人を見たら泥棒と思え」だとか「苛められて成長する」と言っていたのだが、これは違うのではないかと私は思う。放送で自信持って言うのはどうかと思う。

人間は「苛められて」ではなく、人と関わりを持って成長していくものだと思うので、苛める側も苛められる側も後で反省しながら成長するものだと思うので、これは違うと思う。

初めて聴いた人にとっては謎だらけの番組で、「ご近所さんの気楽なステージ」というタイトルも、何でこのタイトルなのかなども分からなかった。

もう一週分を聴いて、構成などはこういうものなのかな、という感じであった。

ガレージセールか何かの申し込みの告知で、「締め切りは1日か2日大目に見てもらえれば良いですよ」と坂本さんが言っていたが、そういうものもあまり軽々しく言って貰いたくない。

限られた枠があるのでやっているのであれば、中々余裕を持たせることはできないことが多いので、本当に「放送聴いてやってきた」と言われてしまったら責任はどうするんだ、とかなりの重大発言をしているのではないかと思う。

最後で「よろしくお願いします」と締めてテーマをだいぶ流してから、ファックスだとかの告知があつてと、最後が重たく終わってしまったような感じであった。

委員 感じるところは野口さんと同じ。

最初名乗らないで、番組の最後で名前が出たので、これは最初に名乗るべきだと思う。

内容に関しては、時間的にこの番組を聴くことがあるが、飽きてしまう。

何で、金曜日のこの時間帯にやっているのかということ、局のスタッフにしたことがある。

金曜日のお昼前の良い時間帯でこれだと、他の局にされてしまうかもと言う気がした。

聴いていて気になったのが「なるほど」という言葉がものすごく多かった。

番組の中に曲が入らなかつたりして、ずっとダラダラ喋っているのは、聴いている方としては、苦痛でしかなかつたり、審議委員として聴いていたが、普通の人であれば局を変えられてしまうと思う。

また、タイトルコールからテーマやBGMに入る部分の曲の繋がりが雑であると感じた。

BGMが長くひかれていたりして非常に気になった。

事情があつてこの時間帯に放送しているんだと思うが、局全体のことを考えると、

もっと違う時間帯の方が良いのではないかと思う。

局員 時間帯に関しては、現在の内容がだいぶ変わってきてしまっているが、当初は障害者の

お子さんを持つお母さん向けに放送したい、ということでスタートした。  
苦勞されている親御さんに、気軽に聴いてもらおうと意味で「気楽なステージ」という  
タイトルで、放送時間もそういうことを意識していた。

委員 「障害を持つ方々に向けて」という番組は非常に良いことだが、内容と時間帯が違うようになっている。

委員 私は「コーヒータイム」の方だということを知っていたので、主旨みたいなものはある程度は分かっていたが、坂本さんの「苛められて…」というような“主張”が、「その人の責任において」ということであれば、それはそれで一つの意見であると思っていたが、それだけを実際の障害者のお母さんが聴いた時に受け止め過ぎてしまうと、どうなんだろうなと感じた。

もうちょっと「そうじゃないんじゃない？」というような人がいると良いのかなと思う。

だからと言って、あまりにも主張が無さ過ぎるのはどうか、とも思う。

番組の理想としては、「そうでもないんじゃないか？」と言うような方が居てくれた方が、聴いている方としては「そういう意見もあるんだな」と言う風に聴ける様になると思う。

「こうなんだ」というような“決め付け”が多く、坂本さんの経験から来る意見なんだろうが、あまりにはっきり言う言い方が、聴いている方としては気になった。

話がダラダラしてしまうと言うのも、メリハリが無いというか「何処まで聴いたら良いんだろう」と感じたところがあったので、そういった部分を工夫した方が良いのかなと思う。

タイトルとイメージしたのと違いがあるので、もっと主旨が分かるようなタイトルの方が良いのかなと思う。

いつも聴いている人は分かっていると思うが、取っ掛かりで聴いた人にとっては、やっぱりタイトルも大事な、と思う。

申し込みの紹介の部分も、出た意見がそうかなと思う。

せっかくインターンシップの方がゲストで来られていたのに、放送ではそれが活かされていないように思った。せっかくなのだから、もっと質問を考えて進めた方が良かった。

いろんな方が放送に登場するのは非常に良い事であるが、残念であった。

委員 初めて聴いた印象では「凄く暗い感じだな」と思った。

もっと一般の方がお話しされているのかと思ってプロフィールを見たら、障害を持たれているという事で、それを意識して聞くと「なるほどな」と思えるところがあるが、初めて聴くことの人のことを思うと、ちょっと（チューニングを）変えたくなっちゃうかなと思う。

普段は車での移動の時に聴いているが、時間帯的に明るい女性のパーソナリティーばかりを聴いているので、ちょっとビックリしてしまったと思った。

このようにNPOで活動している人も、すまいるエフエムとしては必要なんだろうと思う。

こういう「発信する場所」があった方が良い。

委員 先日の「おやちゃい村」(イベント)では、「モノクロカラー」のライブを見たが、良かった。彼らは面白いなと思った。

その他 今後の審議会について、日程を確認した。  
次回開催予定は、平成23年1月21日 午後7時45分より。

- 7 審議機関の答申または改善に対してとった措置  
担当者に報告し、今後の番組制作の参考とした。
- 8 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日  
11月22日（月）社内にて報告した他、社内掲示を行った。
- 9 その他の参考事項 なし

社名	すまいるエフエム株式会社
----	--------------